

目指せ1等比率90%以上!!

稲作管理情報 第2号

平成27年4月4日
 いなば農業技術者協議会
 ○事務局【JAいなば営農生産課】
 小矢部市赤倉97 TEL67-8000
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
 ○高岡農林振興センター 26-8480

初期分けつの確保に向け、育苗20日間で がっちい苗を作り、5月16日(土)に田植えを!!

育苗計画[コシヒカリ：5/16 田植えの育苗計画] (中山間地域はJAいなば営農指導員にご相談ください。)

4月														5月																															
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16													
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土													
浸種(7~10日間程度) ・浸種水温は10~15℃を確保 ・浸種積算温度は100℃以上を確保														タフブロック 種子消毒		催芽	籾干し	播種	出芽	育苗(播種日含めて20日間) 特に、換気を徹底し、ハウス内の温度が30℃以上の場合、速やかに換気!! (緑化) (硬化) 夜間も換気を行う!!												田植													
														搬出																															

1. 種籾の準備・浸種

品種	1箱当り播種量		乾籾重* (kg/10a)
	乾籾量(g)	出芽籾重(g)	
てんたかく コシヒカリ	120	150	3.2
てんこもり			
五百万石	140	175	3.7
新大正糯	120	150	3.2

※乾籾重(kg/10a)は10aあたり苗箱22枚として算出

2. 比重選

硫酸による比重液の調整 (水10ℓあたり)		
	比重	硫酸の量
うるち	1.13	2.5kg
もち、酒米	1.08	1.5kg

比重選を行った種籾は
 発芽不良を起こさないよう
 水洗いを行い、硫酸を
 よく洗い流してください。

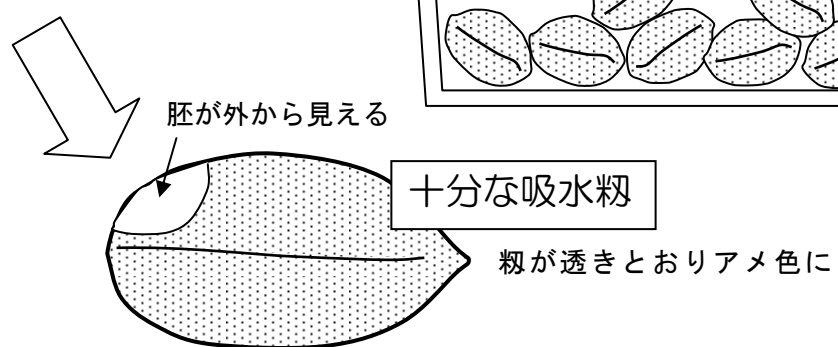
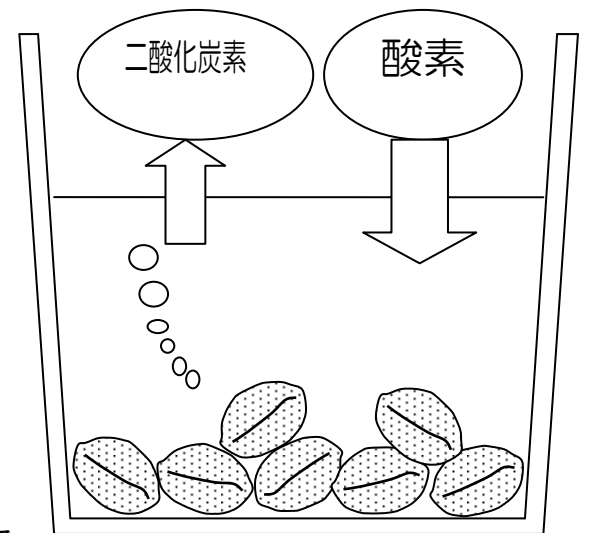
3. 浸種

・浸種初日は水温10~15℃を保ち、種籾が露出しないように、種籾10kgに対し水20ℓで行なう

- ・最初の3日間は水温の保温に努め、その後は2日おきに水の入れ替えを行い、種籾への吸水と酸素供給のため水の入れ替え時に種籾ネットを良く揺すり上下逆にしましょう。
- ・気温が低く水温が10℃以下になる場合はさし湯や加温し必ず10℃以上に確保し、保温に努めましょう。
- ・気温が高くなるにつれ、芽の伸び過ぎに注意してください。

	水温	基準日数	積算温度
てんたかく・てんこもり	10~15℃	12日間程度	目標120℃以上
コシヒカリ		10日間	目標100℃以上

- ・水温をこまめに確認ください。
- ・特に早生品種は催芽率を高めるため、浸種は十分行ないましょう。



4. 種子消毒

①タフブロックの場合(蒸気式育苗器で催芽)

○浸種期間中の最後の2日間で

タフブロックの処理を行う

乾籾量と薬液量(200倍液)

乾籾量	水	タフブロック
10kg	20ℓ	100g
50kg	100ℓ	500g

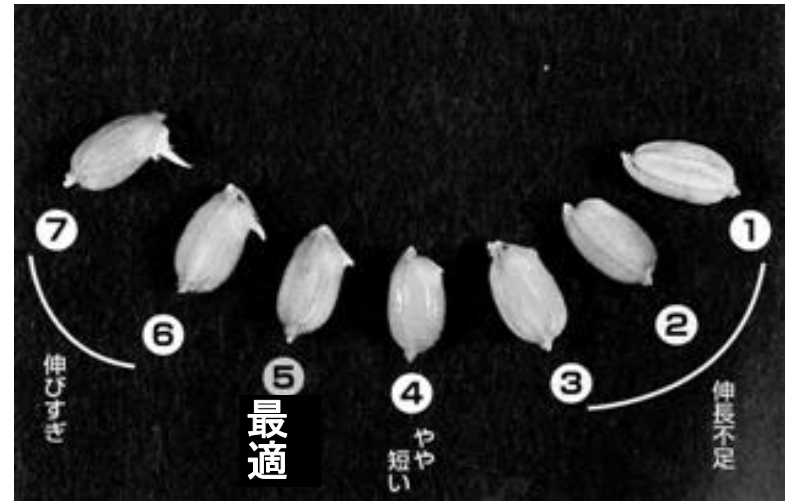
注意事項!!

- ・乾籾は消毒済種子を使用しないでください。(タフブロックの効果が失われてしまうため。)
- ・薬液量は種籾量の2倍の量を準備しましょう。
- ・タフブロックへの浸漬時は12~15℃を保ってください。
- ・タフブロックへの浸漬時間は24~48時間です。
- ・タフブロック液に種籾袋を浸けるときは袋を揺すって、十分に袋の中まで薬液が浸透するようにしましょう。
- ・消毒後、種籾袋をゆっくりとあげる(タフブロック液を落とさない)
- ・浸漬後はそのまま陰干しして播種に備えましょう。(水洗い不可。天日干し不可。)

*裏面につづく

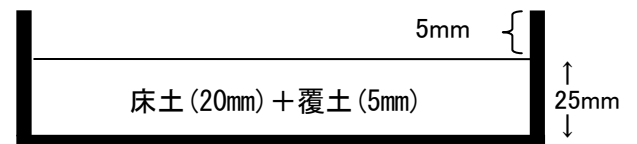
5. 催芽

- ・催芽は育苗器(蒸気式)または「ハトムネ催芽機」を使用しましょう。
- ・催芽の温度は 30~32℃としましょう。
- ・催芽中は種籾袋を度々反転させ、温度ムラを無くし、芽の揃いを整えましょう。
- ・芽長は1~2mm の「ハト胸」状態になっていることを確認しましょう。



6. 播種

- ・芽出し籾は握っても手に付かないくらいに陰干ししましょう。
- ・作業を始める前に試し播きをし、播種量を調整、確認しましょう。
(コシヒカリの種籾は湿った状態で 150g/箱)
- ・覆土は箱当り 1kg(5mm の厚さ)を目安に的確に行いましょう。(転び苗等の防止)
- ・タフブロックによる種子消毒を行った場合はダコレートを使用しないでください。



新規苗箱施薬剤 (エパーゴルワイド) の使用について

- ・播種同時処理でも、移植当日に育苗箱に施薬しても、どちらも可能です。
- ・播種同時処理する場合は、「床土→灌水→播種→エパーゴルワイド→覆土」の順番です。
- ・極端な低温での育苗では、生育抑制を生じるおそれがありますので、温度管理に注意してください。
- ・移植当日に育苗箱に施薬する場合は、均一に施薬するようにしてください。
- ・エパーゴルワイドの量は 50g/箱、育苗箱 20 箱で 1 袋 (1kg) です。
しっかり適量施薬しましょう!!



7. 出芽

- ・出芽温度は 28~30℃を厳守しましょう。(30℃以上になるとカビの発生が多くなります)
- ・途中、こまめに出芽状況を確認しましょう。
- ・**(棚上段の出芽状況で判断せず、棚中段の出芽状況(目標 1cm)を確認しましょう)**

8. 搬出作業

- ・出芽完了苗は早朝に搬出する。
- ・搬出後は覆土が落ち着く程度のかん水を基本としますが晴天などで気温が高まる場合は十分なかん水を行いましょう。
- ・種籾が露出している場合は覆土を加えるとともに、搬出後は緑化のために寒冷紗等により2~3日の間遮光に努めてください。
- ・ハウス内の温度が高い場合(30℃以上)は、搬出直後でも苗がヤケないように換気をしてください。

9. 育苗管理

①緑化期

- ・昼は、**25℃を超えないように**夜は 10℃以下とにならないように注意ください。
(**25℃を超えるとヤケ苗**や細菌性病害の発生が**助長**されます。
また、10℃以下になると生育停滞やムレ苗の発生につながるため、ストーブ等による加温をしてください)

- ・苗が緑化した段階で被覆資材をはずします。

②硬化期

- ・ハウス内の温度を昼は 25℃以下、夜は 10℃以上に保ってください。
- ・硬化期のかん水は1日1~2回とし、早朝には箱の底まで十分に浸透するようにたっぷりかけてください。

苗のステージ		出芽期	緑化期	硬化期
育苗日数		3日	2~3日	13~15日
温度	昼	30℃	25℃以下	25℃以下
	夜	30℃	10℃以上	10℃以上

- ・田植の1週間前頃からは夜もハウスを開け、外気に慣らし、硬くがっちりした苗にしましょう!!